

2009年11月20日

各医療機関 病・医院長 様  
輸血担当者殿

埼玉県合同輸血療法委員会  
代表世話人 前田平生

「埼玉県内で2008年に輸血を行った全ての医療施設へのアンケート」

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび、厚生労働省のご指導で「埼玉県内における適正で安全な輸血療法をより進めるため」に、神奈川県などですでに実績をあげている事例を参考にして、別記の様な世話人の皆様と「埼玉県合同輸血療法委員会」を立ち上げました。

この委員会では県内の大病院のみならず、中小の病院とクリニックにおいても適切で安全な輸血を行う際の参考になるように、現状を把握するためのアンケートを「埼玉県内で2008年に輸血を行った全ての医療施設：約460施設」に行うことになりました。このアンケートの集計結果は、来年の3月に公開の予定です。

このアンケートにご回答いただく事によって、埼玉県内の適正で安全な輸血医療の推進のみならず、貴院のレベルアップにも貢献するものと思われます。

なお、ご回答を容易にするために2008年の血液製剤の使用量に応じてアンケート内容量を少なくするなどの配慮を致しましたので、ご協力をお願い致します。

貴院の益々のご発展を祈念致します。

敬具

《埼玉県合同輸血療法委員会 世話人会》

代表世話人：前田 平生（埼玉医科大学総合医療センター 輸血・細胞治療部 教授）  
世話人：安達 秀雄（自治医科大学附属さいたま医療センター 心臓血管外科 教授）  
阿南 昌弘（埼玉医科大学総合医療センター 輸血・細胞治療部）  
池淵 研二（埼玉医科大学国際医療センター 輸血・細胞移植部 教授）  
板倉 敦夫（埼玉医科大学病院 産婦人科 教授）  
伊丹 直人（埼玉県立循環器・呼吸器病センター 検査技術部 輸血管理室 主任）  
大久保 光夫（埼玉医科大学総合医療センター 輸血・細胞治療部 准教授）  
加藤 裕（埼玉県 保健医療部薬務課 課長）  
河野 幹彦（自治医科大学附属さいたま医療センター 臨床検査部 教授）  
坂口 武司（防衛医科大学校病院 輸血・血液浄化療法部 主任検査技師）  
鈴木 美登利（獨協医科大学越谷病院 臨床検査部 講師）  
鈴木 洋司（防衛医科大学校病院 輸血・血液浄化療法部 教授）  
関 博之（埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 教授）  
西田 淳二（自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科 准教授）  
花田 良二（埼玉県立小児医療センター 血液・腫瘍科 副病院長）  
林田 眞和（埼玉医科大学国際医療センター 麻酔科 教授）  
平林 久美（深谷赤十字病院 第二内科 部長）  
藤野 真治（自治医科大学附属さいたま医療センター 臨床検査部 副技師長）  
星野 茂（さいたま赤十字病院 血液内科 部長）  
前原 光江（埼玉社会保険病院 臨床検査部 部長）  
南 陸彦（埼玉県赤十字血液センター 所長）

※五十音順 敬称略

事務局：埼玉県赤十字血液センター 製剤部 学術課

#### 《回答手順》

本アンケート調査において、使用量などの記載を求める設問項目は  
2008年1月から12月を調査対象期間としておりますことにご留意ください。

1. 調査記入用紙に回答をご記入ください。
2. 選択項目は特に指定がない限り、選択番号に○を付けてください。

※ アンケート調査票にご記入いただいた施設名の公表はいたしません。

※ アンケート調査票の全ての項目に記載が出来ない場合であっても、空欄のままご返送ください。

#### 《報告方法》

アンケート調査票を同封の返信用封筒で郵送にてご返送ください。

#### 《集計・解析の報告方法》

年に1度開催する「埼玉県合同輸血療法委員会」にて報告し、アンケートにご協力いただいた施設に対し、報告書としても配布を予定しています。

#### 《埼玉県合同輸血療法委員会の開催（予定）》

日時：2010年3月27日（土）13：30～

場所：さいたま市民会館うらわ

#### 《回答締め切り期限》

2009年12月25日（金）必着

#### 《問い合わせ先／送付先》

埼玉県合同輸血療法委員会事務局

〒350-1213

埼玉県日高市高萩1370-12

埼玉県赤十字血液センター 製剤部 学術課

電話：042-985-6243／FAX：042-984-1210

E mail：iyakujoho1@saitama.bc.jrc.or.jp